

第六十急回 リフレクシムレーケトニOHNノ

『This War of Mine』

考え



U、脱いじやいなよ。

弦楽器イルカ  ⇔ 友人

目次

第六十急回 リフレッシュレート 120Hz と『This War of Mine』～U から G へ～	1
第六十急回 リフレッシュレート 120Hz と『This War of Mine』～G から U へ～	4

第六十急回 リフレッシュレート 120Hz と『This War of Mine』 ～U から G へ～

ゲームの話で盛り上がってしまったので、AIの話に戻りましょうか。だがしかし、今回はその手前で終わってしまうだろう。

10年以上 iPhone ユーザーだったが、値段が高いのと、Android の自由さを求めて、今回は Google の pixel7Pro を買った。届くまではすごく楽しみで何度もゆうパックの追跡をしたし、トラックが通ると来たかな！？ って反応したくらいだ。ちなみに夜9時前に届いた。

が、しかし、今、無力感を味わいながら、pixel を買った状態になるべく近いように返送用の梱包して、返品手続きを取っている。pixel さん、短い間だったが、夢を見せてくれて、ありがとう。

すごくマニアックな理由なんだけど、そもそも新しく買おうとした理由は、リフレッシュレート 120Hz に対応したスマホが欲しかったからだ。iPhone も pixel も最新のはこれに対応している。画面スクロール時の残像が少なくなって、ヌルヌル動くようになる機能。普通はゲーミング用のモニターで気にするスペックである。誰でもよく見てみるとわかると思うけど、他のは画面がスクロールしている最中に文字がぼやけるんだよね。しかしリフレッシュレート 120Hz はくっきり映る。そしてバッテリーを激しく消費する諸刃の剣でもある。

で、何がしたかったかって言うと、ネットサーフィンや 2ちゃんやら TikTok とか過去の写真でも、要するに何でもなんだけど、ダラダラと、寝そべったりして、スマホのスクロールをさせてるんだよね。延々と親指や人差し指でグルグルグルグル。なんとなく文字とか画像を眺めて、無意識の領域に情報を流し込んで、気になった箇所だけ止めて見る。これが至極快感な行為のようで、いわば今の我が生活の半分はこの行為で成り立っているようなものだ。昔ならテレビのチャンネルをポチポチさせたりとか、雑誌をペラペラめくったりとかだ。俺だけでなく、世界人口の半分以上はこの麻薬中毒者だろう。このダラダラスマホ麻薬の高級品種が、リフレッシュレート 120Hz。自分みたいな上級者はカタログの裏表紙のスペック表でこの単語を見ただけでハイになれる。

pixelの何がダメだったかって言うと、ややこしくてすまんが、実はリフレッシュレートではなくて、セットとなる慣性スクロールの見えないスベックである。指でスクロール操作したときの感度が美味すぎるって話です。

pixelはスクロールの速度が、10段階で言うと、1、3、5、20しかないような感じなんだよね。というか、主観的な判断をなるべく避けるべくノートをとって実験したら実際そうだった客観的な事実である。だから、スクロールが急に速くなったり、つかえたりして、実に麻薬的ではない。iPhone14proはこの点、素晴らしくて、思い通りというか、無意識通りにヌルヌル動いてくれる。たしかにMacから一時的にWindowsに変えた時のタッチパッドもそうだった。あの時は3年間イライラし続けたよ。

これは意外な伏兵、落とし穴であった。惜しいのは店でpixelを試した時には気が付かなかったことだ。家と違って正しい姿勢ではなかったのも、感性が研ぎ澄まされてなかったからだろう。リフレッシュレートもそうだがスクロール慣性も、それくらい繊細な話である。店でも、ちょっとすみません、って言って、おもむろに服を脱いで地面に仰向けに寝そべて、正しい姿勢をとり本番さながらリラックスモード全開にして、試してみるべきだった。いや、冷静に考えればそこはヨドバシカメラの売り場なので、服は着たままでも仕方がないだろう。でも少なくともなるべく実践に近づけるべきだった。

この点を気にしている人はかなり少ないようで、世間では皆が、CPUとかメモリーとかカメラとか大きさとかバッテリーの持ちとか副次的なスペックばかり気にしている。そんなものはどのスマホでも大差はないし、そんな小さな違いに大金を払うのは実に愚かだ。冷静に考えて欲しい、今手元にあるスマホで十分だろ。あとネットの情報を漁ってもほぼ仲間はいなかった。意外だ。きっと無意識のものなので、顕在化され、社会に認知されるまで、しばらく時間がかかるのだろう。はっきり言えるのはこれは個人の慣れの問題ではなく、普遍的で恒久的な事実である。人生の半分がかかった大きな問題であり、真のパートナーを選ぶ大事な判断である。

だからpixelよバイバイ。永遠にだ。

あ、AIの話だった。AIが人間に近づいているように、人間もAIに寄っていつてるんだよね。体の一部にAIを組み込んでいく形で。でも、iPhoneを予約しないといけないので、この話はまた後日。



第六十急回 リフレッシュレート 120Hz と『This War of Mine』 ～G から U へ～

いい話だね！

「いや、冷静に考えればそこはヨドバシカメラの売り場なので」の部分が好きって自画自賛もサイコーです。

俺もダラダラネット記事をハシゴしてしまうので、気持ちはわかります。スクロール中に文字がぼやけたり指に反応しなかったりあるね。気にしないようにしていますが。

ところで NHK で『This War of Mine』ってゲームの特集してて、それが『fallout4』に近い部分もあった。ポーランド産で、教材にも使われてるんだって。内戦を兵士側ではなくシェルターに避難する民間人側から体験できて、危険で物資もない極限状態の中、盗んだり争ったりすると主人公が鬱になったり精神崩壊して操作できなくなるって。

その部分、亀に驚いて逃げ出す『おでかけレスターれれれのれ (^;』に似てるって思った。

全体としては、前に書いた『Brothers - A Tale of Two Sons』とか、シンプルかつ考えさせる好きなタイプのゲームだった。

過去 69 回に渡って取り上げてきた全作品に共通して言えるのは、現実世界は、白と黒にも、喜劇と悲劇にも、安全と危険にも、アクションとシミュレーションにも、どれも完全に分離できなくて、常にグレーなグラデーションのどこかに存在している。

悲劇の渦中で起こる喜劇や、身に迫る危機をどうでもいい世間話で誤魔化そうとする姿こそ、俺にとってはリアルに感じる。

今回はここから発展してく話です。

ところで人間が電腦化してく話って、まさに『カズレーザと学ぶ。』って番組でも観た気がする。いろんな専門知識を取り扱ってて、You Tube 逆輸入って感じで、最近よく観てるんだけど。

U が 20 年以上前に「人間は無意識で動いてる」って学説について話してたこともやってたし、最近よく聞くなってると思う。

とは言え、「無意識で動く」って魚や虫なら当たり前って考えもあるだろう。

俺は「無意識＝潜在意識」「意識＝表層意識」って定義したら分かりやすいと思った。

人間の行動の多くは「潜在意識」が決定してて、後でなぜ行動したかを「表層意識」が理由付けしてるって話はわかった。また、人間の知覚は現実から約0.5秒遅れてるから、スポーツの多くは「潜在意識」を鍛えて反応してるって話もわかった。

ここ、だいたい合ってるよね？

他の動物と同じように、生存だけなら「潜在意識」でも可能だけど、発達した「表層意識」で深く考察する人間は、知能や言語を使ってより繁栄した社会を形成できるようになった。

また、「潜在意識」が原始的な快楽を感じ、「表層意識」が記憶や将来と結びついた幸福感を感じることで、現実を生き伸びる苦痛を緩和しているんだろうと思う。

人間は快楽や幸福のために生きるのではなく、遺伝子を残すために快楽や幸福が必要だったんだろう。

円周率や過去の日付の把握でギネス認定されてる人とか、たぶん「潜在意識」が特殊に発達してるんだと思う。

んで、意識を持つ生物個体の対極に、意識のない現実があると仮定すると、「潜在意識」は個体の側にあって、「表層意識」は現実と生物個体のちょうど中間にあるんだと思う。つまり、

「生物個体＝潜在意識」⇔「表層意識＝中間」⇔「現実＝非意識」

ってことだ。

そう考えると、人間の「表層意識」って、脳細胞が作り出した幻影ではあるんだろうけど、現実と生物個体から半々の影響を受けているんだと思う。

んで、こっからが俺の完全な妄想なんだけど。

現実世界ってまだまだ分からないことが多くて、人間が知覚できる物質や現象も絶対にある物ではなくそう知覚された物にすぎない。

時間だって、人間は過去から未来への一方通行だと思っているだけで、実は過去に逆流できるのかもしれないし、現実の川のように「上流＝過去」も「下流＝未来」もずっと存在していて、実は見通せる物なのかもしれない。知覚出来る目を人間が持っていないだけで。

そう考えると、「表層意識」って単なる生物個体の内側にある物ではなく、「周囲の環

境からの刺激」と「脳が作り出す幻影」が混在した電磁波みたいなモンなんじゃないかなって思う。

エジソンが最後に発明しようとしたものが「霊体交信機」だったとかいう話も、双子が遠く離れていてもテレパシーが通じるって話も、動物や人間が「虫の知らせ」を感じる話も、「表層意識」が生物個体と周囲の現実世界、半分ずつ依存して「人と言う字」みたいに成立してるからじゃないかと、なんかちょっと思ってるんだよね。オカルトだけど。まさに人だけにさ。

ちょっと全部を伝えられてない気がするけど。

とりあえず今回はこんな感じでいいや。

どうかな？



考えるウマシカ～第六十急回 リフレッシュレート120Hzと『This War of Mine』～

著 弦楽器イルカ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
